

【ねがいましては】

第87号

平成8年8月29日

共和珠算学習塾

「これが学び」

今年もキャンプ、無事おわりました。今回は初めて西湖（周囲約10km）を全員で歩いてみました。みんなで1列になりゾロゾロという歩き方ではなく、各自が思い思いのペースで歩きます。小3～高1までの参加者の内、1番でたどり着いたのは小3の子たちでした。パワーのかたまりを存分に発揮しました。私はもちろん最下位です。

スタート前は私を含め全員が完歩できるかという不安がありました。強引に勧めたこともあり全員覚悟を決めたようでした。誰も助けてはくれない。自分だけが頼りです。もし道に迷ったら「ここは日本です。日本語を使って道を尋ねましょう！」というわけで約2～3時間の旅が始まりました。

富士山が見え、トカゲも現れたり、合宿中の大学生の方々、ウインドサーフィンを楽しむ人たち、釣りをする人、畑にはキャベツ、コスモスなどの花々を見ながら歩きます。全員が五感を精一杯に使いながら歩きました。疲れを覆いこむような楽しさを感じながら、生きていることをかみしめながら歩きました。

「富士山が見えたんだよ」と言うと「本当？」という返事、結構気がつかないものなんですね。歩きながら、歩きは遅いなあ、自転車だったら速いのになあなどと湖を一周することだけを考えていると、きっと楽しくないよ！

いつか着くよ、いつかね、何とかなるんだよなー、まあこつこつ歩こうや！おやつ！虫がいるね、セミが鳴いている・・・。

生きているなって感じるときって、自分をフルに動かしている時かな？つまり歩くことを楽しもうという受け取り方ひとつで決まるのかも。これは何にでも当てはまることだと思っています。今が幸せかどうか、それも受け取り方ひとつだと思います。

自然に囲まれた景色の中をひたすら歩く。少しずつ心はきれいになっていきます。

今いるこの一瞬を楽しもう。それともまっすぐ前だけを見ながら景色にも目をやらずゴールだけを目指す。のんびりのんびり寄り道しながら歩いたっていいじゃない。その方が吸収できるものがたくさんあるかもしれません。

世の中何かとスピードがもてはやされる時代です。勉強もスピード・・・？いやっ、じっくりと楽しむ勉強もいいかもしれませんね。

今年も昨年同様、障がい者施設の方々がいらっしゃっており、一緒にキャンプファイアーに入れていただきました。皆で手をつなぎながら歌い笑う姿は何回見ても胸がつまる思いです。

塾の子たちには絶対にかなわないなーと思うのが、障害を負った子たちのつくる笑顔です。その笑顔に今年も会えたことにこころから感謝です。塾生たち、スタッフたち、簡単には手に入れることのできない大切なことを学ばれたと思います。エネルギーをいただきましたね。そのエネルギーを今度はあなた方がとなりの人にそっと渡す番です。そのバトンを広げていきましょう。勉強では手に入ることのできない大切なものです。出会いってすばらしいですね。